

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第 446 回 「全面禁煙」と Risky Shift

2011. 11.12

我事業体 (IKG と呼んでいる) は、2つのビルに分散して事業所が所在する。
そのうちの一つ、常時私がいるオフィスが、今年の11月から「全面禁煙」となった。
このオフィスは約20名のスタッフがいるが、喫煙者は私を含め3名である。
現在我国の喫煙率は21.7%と過去最低になったが、我社の場合更に低く、15%の喫煙率である。にもかかわらず、「受動喫煙」を嫌う、特に女性スタッフの「声なき声」的要望で、オフィス内から「煙たさ」を排除することとなった。
要は「禁煙」にしたらいいいね...ということである。

従来、「代表室」と称する私の応接兼打合せ室兼執務室が、唯一喫煙できたが、それを含め、パブリックスペース(フロア)も、休憩コーナーも全て、禁煙となった。
そう、狙いは代表室の主と、それに同調し、久しぶりに堂々とタバコが吸えて、生き生きしていたお客様ということだろうか。
ともかく、少しでも煙たい職場は嫌だ！ということである。
そして11月から「全面禁煙」となった。
それを素早く決断したのは、何を隠そう、「私」自身である。

8割近い人がタバコを吸わない社会になった今、禁煙こそ社会常識であろう。
タバコを吸う人が例外である以上、オフィスが禁煙であることは当たり前である。
「癌になるのは俺様自身だから、ほっといてくれ」……
愛煙家が唯一屁理屈を言っていた自虐的弁解論も、
「受動喫煙による有害性」の一言で、無残にも一掃されてしまった。
喫煙こそ諸悪の根源であり、反社会的行為である。
医学的にも、環境的にも、周辺に害を撒き散らす「おそろべき存在」であり、抹殺すべし！...ここまでヒステリックにエスカレートしてくると、「正論：憎き喫煙者」論が何でもまかり通ると思ってしまう、いかにも「KY おばさん風大臣」の発言が話題になったりする。
もはや愛煙者をフォローする術は、なくなった。

癌と喫煙の関係、空気摂取量から考える「タバコ肺癌説」のデータの怪しさ、公表されているデータは全て疫学ベースの推計で、病理学面での検証は今だないと言う事実。
受動喫煙にいたっては空気中への分散を考慮に全く入れずに、危険性だけを先行させて不安を煽る手法で警告を出している。
にもかかわらず殆どの人が受動喫煙で癌や疾患になると思いついでいる。
現状での科学的根拠は皆無...と言い返してみても、もはや、**犬の遠吠え**かもしれない

でも、何か少し、おかしくないだろうか。

どこか冷静さを欠いた、昨今の嫌煙運動は、やっぱり今の日本を代表する行動パター

ンのような気がする。

実態を知ろうとせず、調べようもしない大衆が主流になった時、いとも簡単にマインドコントロールができる事、古今東西の歴史が物語っている。

自らの意思と検証する努力を放棄し、大きな流れに乗っていることに安堵感を持つとしたら、いかにも単純な集団行動が行なわれる。

このことを社会心理学では「**リスキーシフト**(risky shift)」と呼んでいる。

普段は穏健な考え方をし、比較的節度を守って行動することのできる人が、大勢の集団の中では、その成員が極端な言動を行なっても、それを特に気に掛けもせずに同調したり、一緒になってそれを主張したりするようになっていくことをいう。

マーケティングの**デモンストレーション効果**(demonstration effect)とは、この層をターゲットとする。ツービート時代の北野武は「**赤信号、みんなで渡れば恐くない**」という名言を残したが、正にこのことを指しているのである。

一人で渡れば、その人の**自己責任**だ。

それに起因するあらゆるリスクを回避する。

その結果、徒党を組んで、不即不離の関係を築き、金魚のフンのように横並び意識の護送船団...いかにも現代日本人の好みそうな集団行動だと思う。

その行動心理は選挙にも反映し、安易に民主党を批判する前に、選んだのは誰だ！という自己責任を、多くの有権者は忘れてしまっている。

環境美化、健康促進といえば「**錦の御旗**」、それにモノいうこと自体タブーである。

いかなる研究結果なのか、良く分からない学者の世界の大半は「**寄らば大樹の陰**」、人類の進化への画期的貢献を繰り返す科学者は極々稀であろう。最近特に、地震や放射能の大惨事という大きな犠牲を受けて、多くの国民が学者の世界に落胆させられた。もちろん、そうでない先生も沢山いるが、世のためにならないお勉強は、学問ではなく、単なる研究者のマスターベーション、趣味にすぎない。

そんな連中に「税金なんぞ使わせてなるものか」、と思っている。

たかが「禁煙」、しかも社会的正論に対して、恐ろしいことを書いてしまった。

嫌煙運動とリスキーシフトは、明らかに飛躍しすぎて、いかにも暴論。

しかも、極端に冷静さを欠いているに違いない。

ロングピースを1日40本、40年以上吸い続けてきた。

医者から禁煙を命じられている私にとって、誰が何言っても、禁煙すべきなのだ。

そのきっかけをつくってくれた、我が社のスタッフには、

むしろ衷心より感謝すべきである。

分かっているのだが...

でも、どこか変だよ、日本人！

という、

漠然と危機感は、払拭されないでいる。